

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可

彼から「ブラッ」おりましたところ、
 菜田の在に入つて見ると、そんな馬子
 は来ないと思つてサア急ぐ、使し出した
 のでございませう。越、金段へ聞いて
 に見ますと、近藤下郷といふ宮戸村に
 上手な馬者であります、それに「ツト」
 越「ア、コリヤ」侍て金へ「越」
 足には、大星でもなつたか。金「大星
 い勢ひで片肌脱ぎで馬を引張つて居り
 ましたが、一寸見てございませう。越
 大星を一面に入つてございませう。越
 前殿然もあらんといふ御侍。越「相分
 つた三浦屋の番頭御勝、越「越、其
 方か抱へ遊女可厭なる者。この金の助
 藩籍をいしたとの只今の申立てで、相
 違ふない。越「ハイ毛頭相違ひござい

▲完全なる皮相の見物 私は本年四月
東京旅行 日新聞主筆 第二 回世界一週會
に加つて世界を一週して來ましたが
僅々百有餘日間の旅行でありましたから
今朝下木水道路等の地を見て居るかと
思へば、實に合地端の方に見て居る
と、夕方は他の都會や名所と廻ると云
ふ有様で、宛然然然空気で郵便を送る
やうで、うすし往來かた横を見ない
やうで、うすし往來だけを見たりあり
から、之と完全なる皮相の見物と云つ
て宜からうかと思ひます
▲旅順の不便 私どもは幸に自分か旅行
する人であるや云ふ觀念と去つて居
るから、此表裏を申したいのであ
ります

▲地勢・物産 北緯の地たるや、所謂「**雄基灣**」の概況(二)
朝鮮に於て半島の中軸たる長白山脈
此處に多少なりと分岐を齎せしむる
野に乏しく地味の神祕と氣候の近赤
經濟的發展の餘地なきが如きも其實
全く想像に反し海に陸に特有なる物
類の幾多を未だ會て各道に見ざる底
富源を埋蔵しあるに堪らず國民の遊
と無能との之れが開發に留意するな
空しく、利権の逸るに委かざれるを
て多くは世に紹介せられざしむるが潜

行者が密かにたゞ一人、一騎だけでな
い、黨の内は五十七人の同行者は一團
體を爲して居りますが、夜になつて旅
人羣に泊ると特別々に室を興へられる
して用事を電話でするところになり、
菓子を待たせたい、水を持ってくる位は
外國語でも出来るが、發音が甘く行が
ないから、入組んだ話は外人では出来
ない、だが、止むと得ず往來を通る日
本人に其用事を頼む、然し丁度好い
梅の時に、日本人が來れば宜いが、一
時間も二時間も立つて居つて漸く違つ
て用を辨する有様でありました、な
ぜとて一人づつに手配した、二

年回下賜せられたる恩賜金一千七百餘
圓の附子八十五餘圓金は既報の如く
教育、授産、及凶款の救済に充當すべ
しとのこととは寺内總督の訓示に依りて
確定せること、即ち此内投産に使用す
る分は五分の三即ち五十餘萬圓にて如
何なる種類の授産に實用せるべきや
は目下各道府郡に於て調査中なれば其
細目を知る能はざれども養蠶業の奨励
は主要なる部分に占むることとなるべ
し從來農商工部に於て是等養蠶業に關
する補助の程度は本年の養蠶季節に於
て二十七ヶ所の傳習所、授産所、對し三百圓以下
の補助金、交申し惟幾共同調

北朝鮮貿易は忽然として興隆し、津市に集積し、其の殷盛は朝鮮の富源として北韓に集中せしむるの一大壯觀を呈んとするに至り而して之れが貿易の年々繁盛を極め北韓の各千港灣に於て輸出入額を計しするに正に千億圓に十餘圓を超過す之れ誠に皆覺醒の時期にある状態にして之れによりて客に北鮮の將來を知るを得べし加ふに北鮮に於ける資源、銅、鐵、炭、油、穀、らば其發展進歩は實に測り知る能はるものあるや明かなり而して戰後世界の膨脹は各地に波及し更に進んで驚愕の應はる勿論南滿洲の曠野に鐵礦を、

之と違ふ、之には亦手附をやる、病くすれば弊限が無いから一時間も二時間も立止してても日本人に達つたに用を頼むと云ふことになるので海に不便を感じた者があつた、或東京の紳士が馬車屋に言葉が通らない爲めに文房の公使館へ連れて行かれた例もありまし又其土地に住んで居る日本の同胞も半日位は時間を潰して案内もして呉れようかと一日縦ひ舞には行かず、別に案内を頼もうとした。一日二日おくと云有様でした。

●食卓の時間なし 私どもは右云ふ通り

れば將來は充分なる保護と範圍の擴大に依り朝鮮今後に露業界は随分見られゝものあるに至るべきと吾人皆々及びハ昔州地方に於ける橘の栽培に依り紙漉等をも興するに至らんと

●朝鮮鮮海漁期に入る
朝鮮鮮海に於ける漁期最も最盛にして秋期より春末に至る間を最も盛に遊し三月月向は多く産地として海東北、迎の潮よく南に成濟南北道近海島を中心とするが殊に咸鏡南道近海鰺漁場を最と下して全漁場を通じ

と學得んや宜しし適當の資本金と
と資本なる事業家と相持て深遠なる營業策
爲し經營するに至らば埋没せる富源
開拓し得るのみならず廣いて邦人商
の發展を爲すと共に國家致富の要素
のべきと必せず今北朝鮮經濟區域に於
ける生産力に付之れと概括し總として
あらん蓋し斯書の架空に非ざるを
べし知て邦人が固年有せし皮肉の嘲
諷は驕然として其欺惑を擧ぐれば即
大豆の如き主要なるものを擧ぐれば即
大豆の如き主要なるものを擧ぐれば即
擧めて良好なり麻布の如きも朝鮮産

生衛門の顔色がナツと變つた。齒を
しはつてなり差向く有様。越前が
名を擧げ、た關へにはうの八衛門の申
を起して居れる傍ら、庄左衛門の方
に金「それから貴下、高田の方に
いりますと馬場が来まして、高田で
行かだから高田の立場まで乗せて行く
といひますから、丁度足も痛めて居
折折これ幸甚と云ふ岩を乗せ、私が

越「ム、そ
どきに、そのいのちのいふには主のこ
どは一生恐れないと申ししますから、
コレ何を申すのかしら、金「恐れ入ります
手煩きですから申上げます、彼女の右
腕に金印のものといふ字を入墨して
あります。越「其方いづれを乗せたる馬子

越「その女には
阿か目標がなかつたか、金「はい則に目
あつていつて私が御互ひに徳合ふて居る
さいます。

[illegible]

等の退色を見ざるなり森林の如き
蒲江の上流より十數里に亘り向斧
斫れしもの繁茂し頗く落葉林と
杉、松等と産し建築界の所要求
の無量なる良材の搬出を匪
あるべし及嶺山も金、銀、銅石炭
財寶を収めて漸く底より起たんと
は儘か人に辭人の密匿する方法に依
拍するに過ぎず若し礦業家の探見
等の退色を見ざるなり森林の如き

ふのに私の女房は死んで居ると申しま
す、私はもう精力が抜けてしまひな
した、切ても死んだばかりだと聞てや
る、其の翌日泉河原へ参りますと
彼のゾツと下流の恐ろしい深い處に柳
の樹が垂れて居ります、其所に女の黒
髪が捲けたて直だけ引掛つてあるの
を見ましたから、夫を救ふべく其首
着で、もう仕方がないまゝならんとい
は近所の寺へ奔りましてマア江戸へ

越え、誰その人の毛頭相違ごいません 越え、誰その人の
養はれて居りましたが十二歳の歳に
いたして仲介者の三右衛門といふ
手を以て買受けたもの相違ござい
せん 越え、その松五郎といふ者
伺いたしました 藤五郎が暗指をして
をつれた者、只今では何所へ參つた
向所に知れません 越え、相違ないか
毛頭相違ごいません 越え、誰其方
其方かに幸公いたし莫大の金子

[illegible]

來ル十月六日(雨天順延)朝鮮總督府工業傳習所觀覽諸君御便宜ヲ計リ當日電車數輛増發運轉致候間此段謹告候也
明治四十二年三月

廣 告

日韓瓦斯電氣會社

千葉縣銚子町
築建元岩崎重次郎

最 登 録

[illegible]

油醬豆

標商

三巴商會

印十

此方一様とに
 與へばど可し脱
 候申す可致利に
 間々吹氣金にき
 御事然向獨と
 事方事色道
 の足敷氣樂び
 の敗氣樂の
 目者志持店名
 親共者に警た
 上階と様ある
 へ應存に御
 入其御事つ
 効入其御事
 可代足は
 仕親り此

旭町三丁目
 元原田村支店跡

鍋道樂

電話 四九番

電話七五三番

本硬質陶

一、食器改良の急先鋒たる硬質陶器の
南産美なる損びにくく料理店旅館の
に最も効用あり

一、製品目録は南洋各島日本食器洗面
石川縣金澤市長町四岸下

資本金八十萬圓

旭町二丁目

京城特約販賣所

朝鮮

大割引

寫眞器

光學

器特約販賣

特約は品質堅牢にして四五尺の高處より落
下せるに耐へる實用を兼ねたものならし器
陸海軍、醫學、校、客宿舎、諸工場の什器
器等その他御注文に應じて調製す

本硬質陶器株式會社

目理中 藤橋

木村商店

東京神田旅籠町(大池)
東京寫眞館
(電話下谷六五八)

父換升

東京建物株式會社は派出所
東京建物株式會社は東京市
東京建物株式會社現在の資
東京建物株式會社派出所は
東京建物株式會社は土地建
東京建物株式會社は土地建
東京建物株式會社は月賦債

所新設し左の營業開始す
市日本橋區吳服町にあり
資本金高は五百萬圓なり
東京城旭町二丁目にあり
建物を抵當に貸金をなす
建物賣買及紹介をもなす
國却にて建物建築をなす

時節新折松茸飯を始めよし
風味佳良にしつらいます故
並に宴會は梅の家の特色と
何程安直の御宴會にても引
少に不拘御用仰付被下候

●新松茸飯相模

會席御料理

京 城

始め申候
御客様の御口に叶へます様
御光來の上御たゞの程希上候
上品にして町囃なり尙如
受け勉強可仕候出前の儀も多
大和町 三丁目
梅の家
電話 七五三番

諸公債諸株券
現物賣買
迅速確實
御取扱可申候兼業
諸般洋服卸小賣
諸般洋服卸小賣
諸般洋服卸小賣

京城本町三丁目
大坂野村德七代理店
田中友吉商店
電話九三三
電話九九三

祝日韓併合

平壤供台紀念並に、新が祝意を表し且
 今國の轉變に際して、爲邦國に於ては
 此際本國政府に願ひ、御注意を被下候
 ば定例上の特急に宜ら引致上可申候様
 間隙御用命の程幸希上候



宇治茶銘錄 定價表

自製一斤二百六十目定

賞効有賜

園自治宇
 茶
 取賣 小匁

間年政文業創

本町一丁目元福限旅館は當方所有の家屋にして同旅館に貸
本館を改稱し一部を主人歸國に就き全然當方に引取り本館に貸
し居候諸侯の設備を改善仕り且親切丁寧に生命を
旨として營業可仕候御案内の如く當旅館の位置は京城府尹署
署郵便局民團役所及新築韓國銀行等に接近し停車場へ道の
市内近しく左は本町大通り右は閑靜なる處無之と云ふに自致
して宜敷く盡し旅位に通り顔は閑靜なる處無之と云ふに自致
居候何卒四方の御客様以前に倍し御引取りの程奉願候
京城本町二丁目元福限旅館前(養銀旅館跡)

●本

本田旅館

義齒衛全般
齋藤英壽
京城旭町一丁目
電話一四一四番

京城先化門通

淺田洋服店

店主 大島 幸藏

A black and white illustration of a man standing, facing slightly to the right. He is wearing a pinstriped suit, a white shirt with a bow tie, and a bowler hat. He has a mustache and is smoking a pipe in his right hand. His left hand is in his pocket. The style is a simple line drawing.

此來兩山町三丁目に於て越前縣立の教
授能に就く學生の増加と共に教場手
と相成り萬事に不便不静候間今回肩
書の處に移轉仕候此段謹告候
尙新教場は理想的設備となし益々學
業に對して教則此際入學可仕望の尤
二餘勤勞を待申込致下度候
大平町二丁目(組田)
教授所
野村サワ